

病害虫発生予察注意報 第5号

富山県農林水産総合技術センター所長

ネギアザミウマの多発に注意

県内の白ねぎほ場において、ネギアザミウマによる被害が平年より多く確認されています。今後、本虫による被害の拡大が懸念されるため、防除の徹底が必要です。

◎病害虫名 ネギアザミウマ

- 1 作物名：白ねぎ
- 2 発生地域：県下全域
- 3 発生程度：多い
- 4 注意報発令の根拠

(1) 県内5か所の白ねぎほ場における7月25日の被害株率は、94.4%で平年(42.6%)より高く、被害度は38.2で平年(12.5)より高かった(図1)。

ネギアザミウマは、高温少雨条件下で発生が助長されるため、今後、被害の拡大が懸念される。

(2) 新潟地方气象台によると、北陸地方の8～10月の気温は、平年より高いと予想されており、ネギアザミウマの活動が活発になると予測される。

5 防除対策及び留意事項

- (1) ほ場内をよく見回り、被害株の早期発見に努める。
- (2) 高温乾燥条件下では、被害が急激に拡大する恐れがあるため、被害が目立つ場合は、液剤等で直ちに防除を実施する。薬剤の選定にあたっては、防除指針や農林水産省農薬登録情報提供システム(<https://pesticide.maff.go.jp/>)等を参照するとともに、薬剤の感受性低下を防ぐため、同一系統の連用を避け、ローテーション防除を実施する。
- (3) ほ場内および周辺の雑草地は、本虫の増殖源となるため、除草を徹底する。

【参考資料】

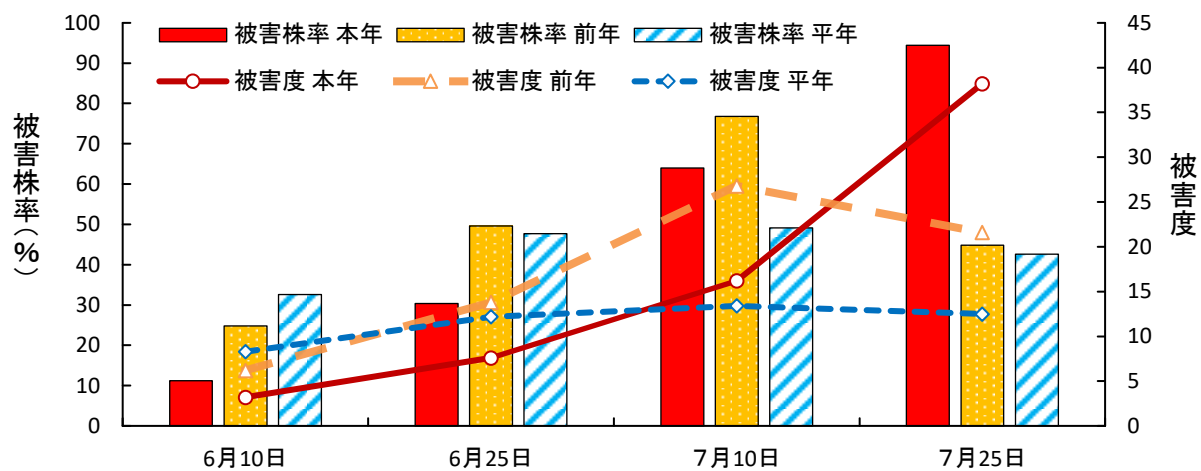


図1. ネギアザミウマの被害株率と被害度の推移(県内5か所平均)



図2. ネギに寄生するネギアザミウマ



図3. ネギアザミウマによるネギの被害
(左:多発生、右:少発生)

問合せ先
農業研究所 病理昆虫課
TEL 076-429-5249 FAX 076-429-2701